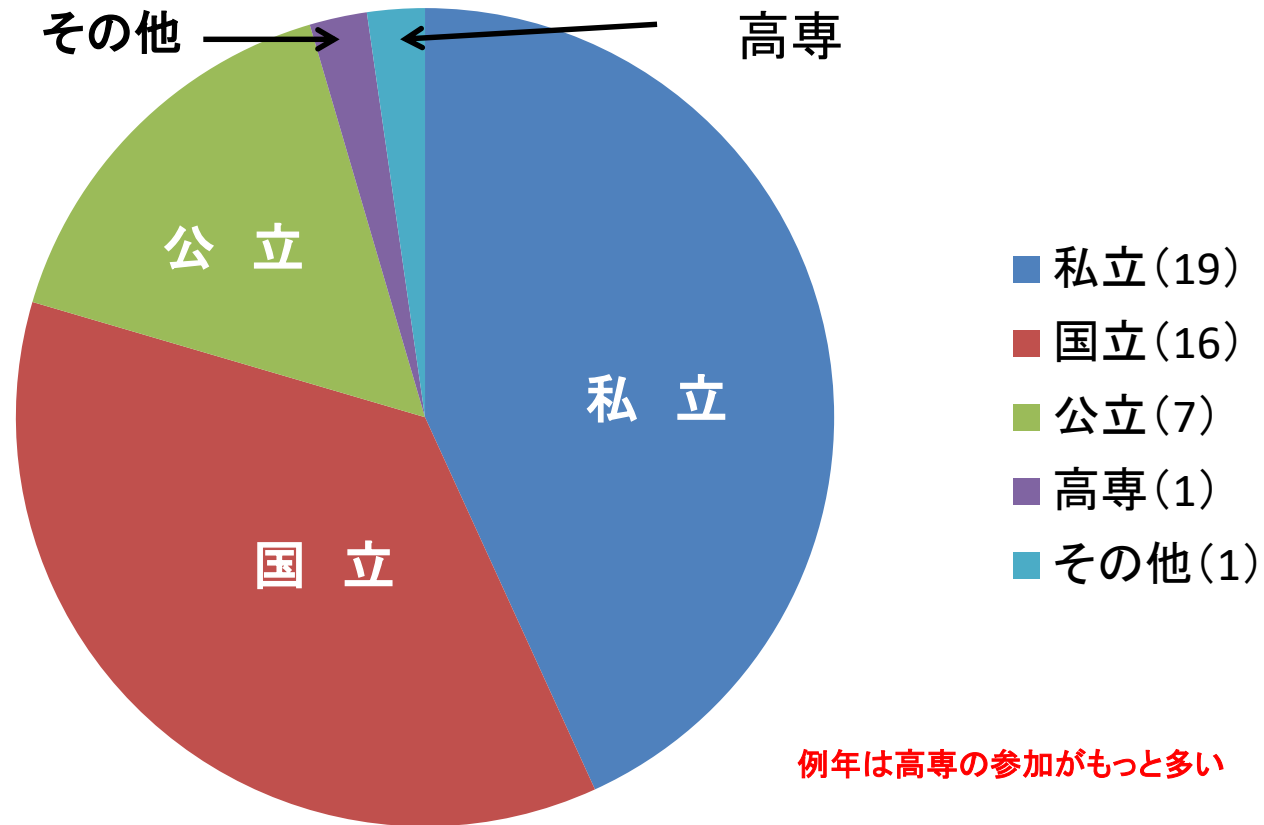
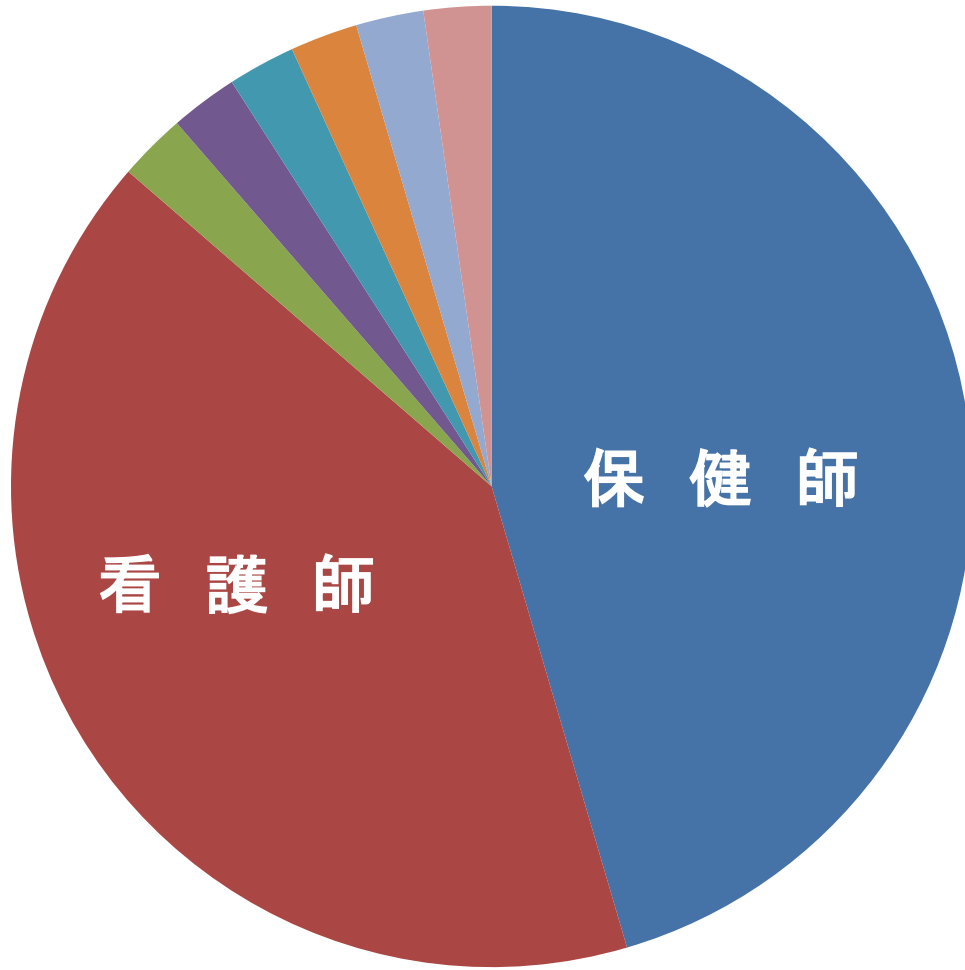


第48回中国四国大学保健管理研究集会
保健・看護分科会 アンケート結果

勤務先



職種



■ 保健師 (20)

■ 看護師 (18)

■ 保健師・看護師 (1)

■ 看護師・養護教諭 (1)

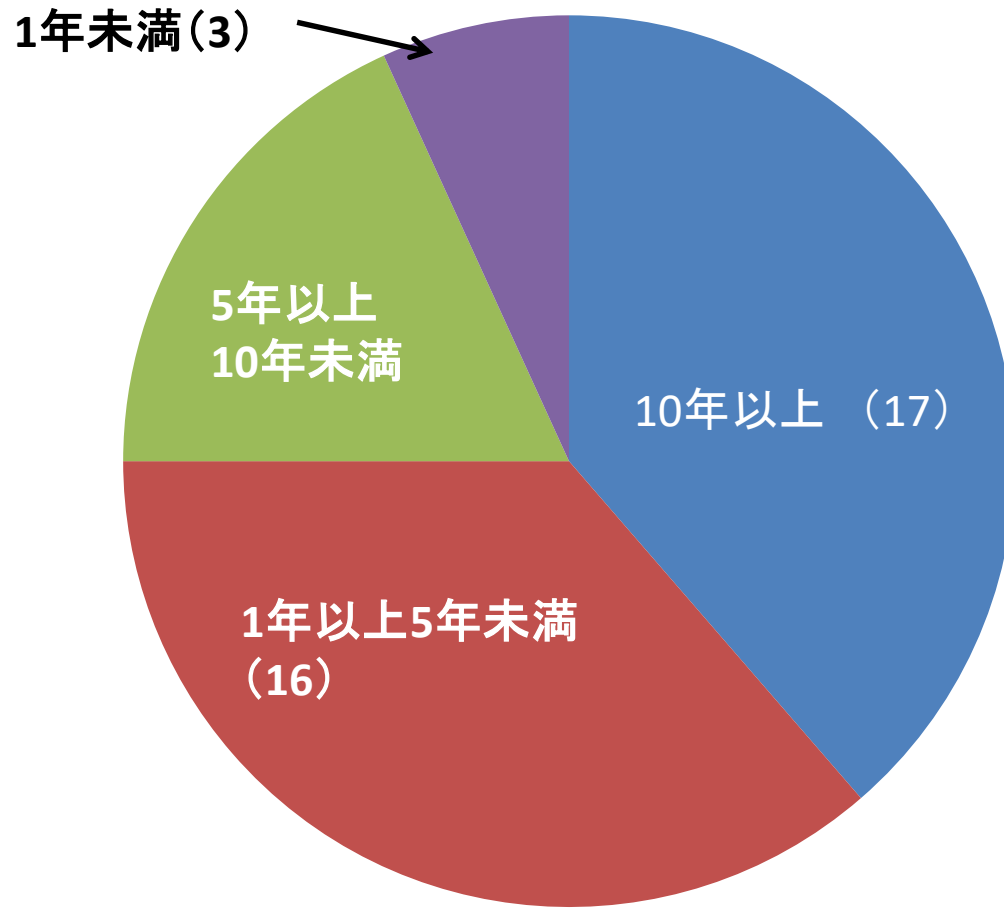
■ 看護師・養護教諭・精神福祉相談員 (1)

■ 養護教諭 (1)

■ 医師 (1)

■ 保健管理課長補佐 (1)

保健管理に携わった年数



勉強会開始時間

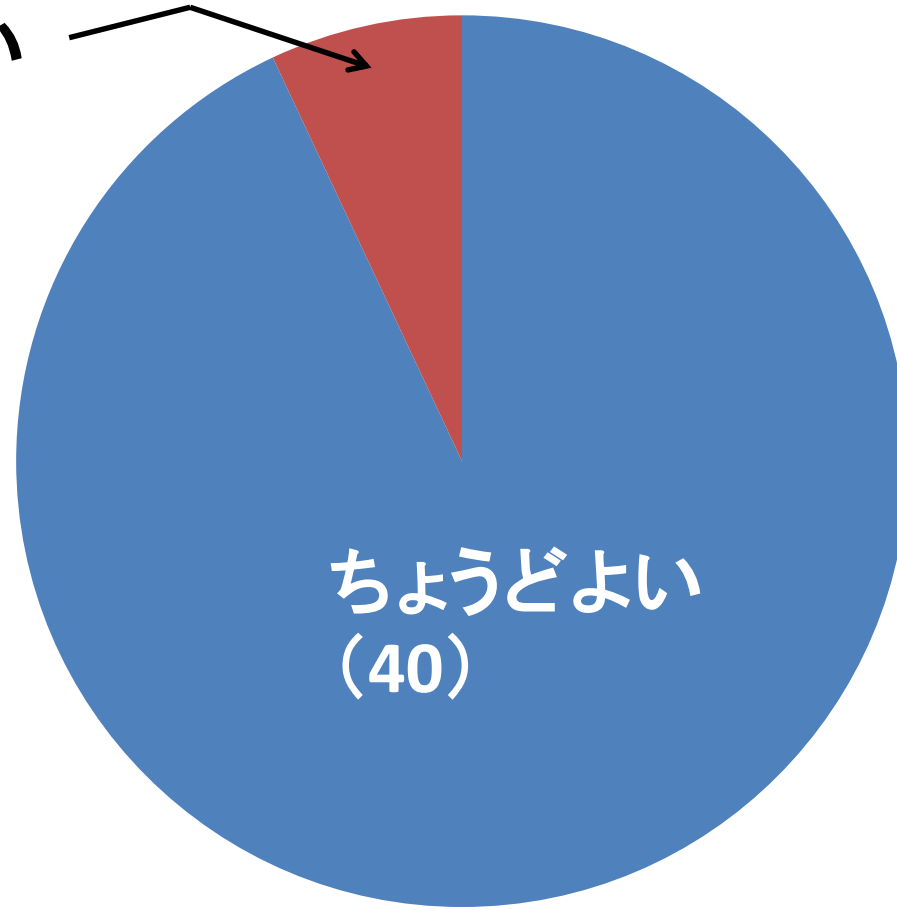
回答者全員15時でよい

勉強会終了時間

回答者全員17時でよい

勉強会に要する時間(2時間)

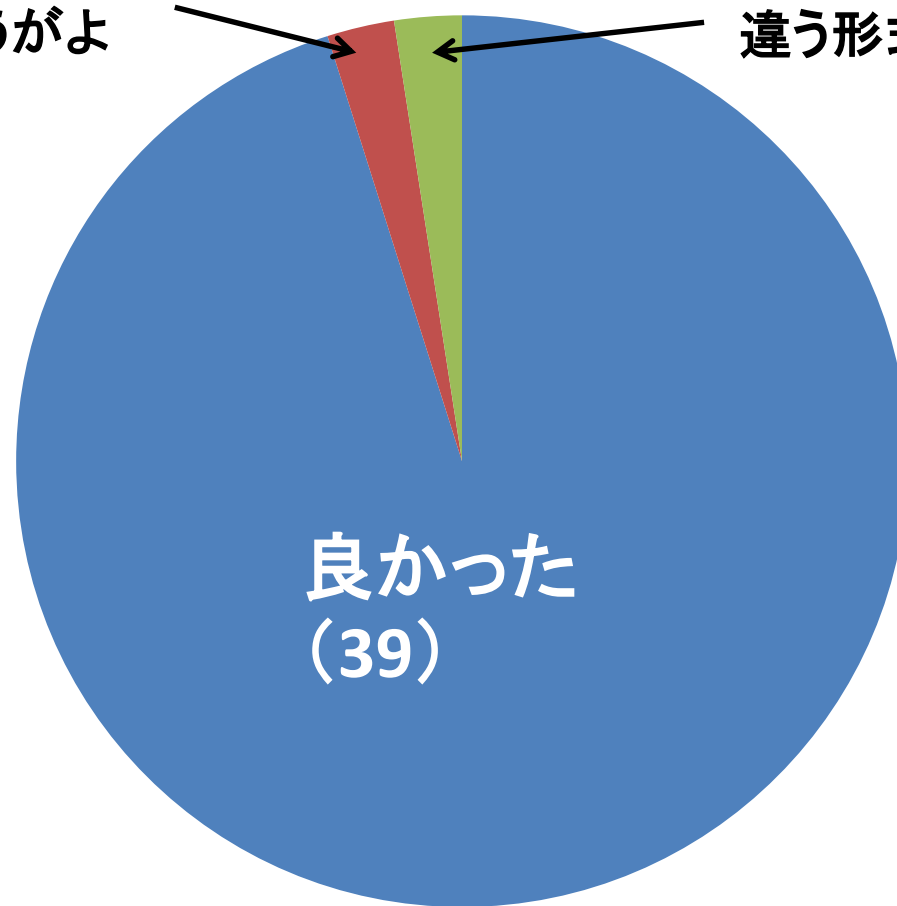
もう少し長い
ほうがよい
(3)



勉強会の形式（講演と意見交換）

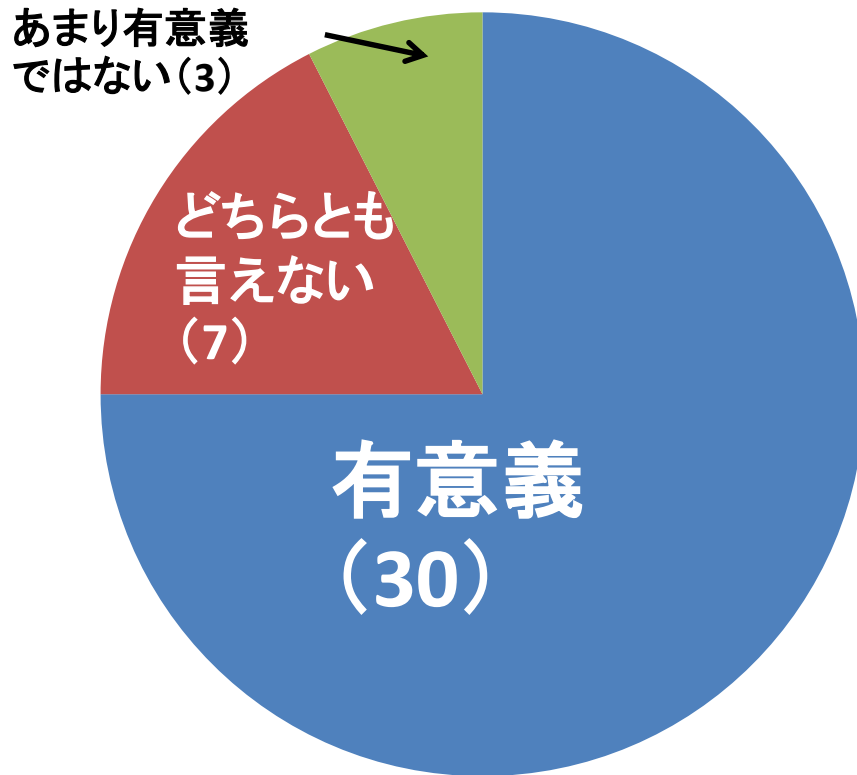
講演のみのほうがよ
かった(1)

違う形式の方がよかった



良かった
(39)

保健管理センターの機器調べ



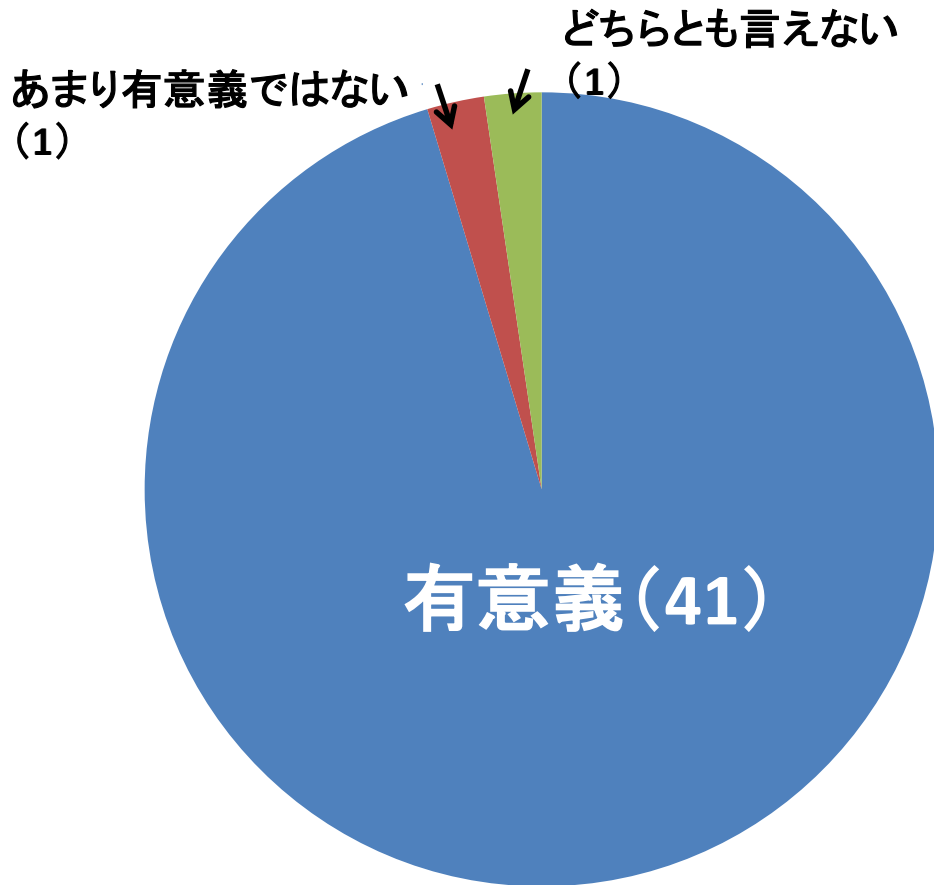
- ・他大学のことを知ることができた
- ・施設の力量に差を感じた
- ・知りたかった情報には満足できた
- ・学生サービスの点で参考になった
- ・購入の際の参考にしたい
- ・興味のある機器もあり調べてみたい

講演内容

回答者全員有意義

- ・興味深い内容で参考になった。
- ・現状を聞くことができ参考になった。
- ・**学生相談に役立ちそうだった。**自分周りの人にも
- ・マイナス思考の方への適切な声かけが分かりよかった。**自分自身へのよい振り返り**となった。
- ・現在**来室している学生に使える**なお話だった。
- ・分かりやすく明日から**自分の生活に取り入れたい**と思った。
- ・大変分かりやすかったが、相談業務にどう取り入れたらよいかわからない。まず**自分のマイナス思考を変えられそう。**
- ・具体例を含めながら認知療法について詳しい講演で良かった。
- ・メンタルケアに必要な認知療法の一部を知識として得られよかった
- ・**業務だけでなく自分自身にも活かせる**内容だった。
- ・**日ごろの活動にすぐに取り入れられる**内容だった。
- ・講師の先生の話が上手だった。
- ・認知療法を身近に感じられた。

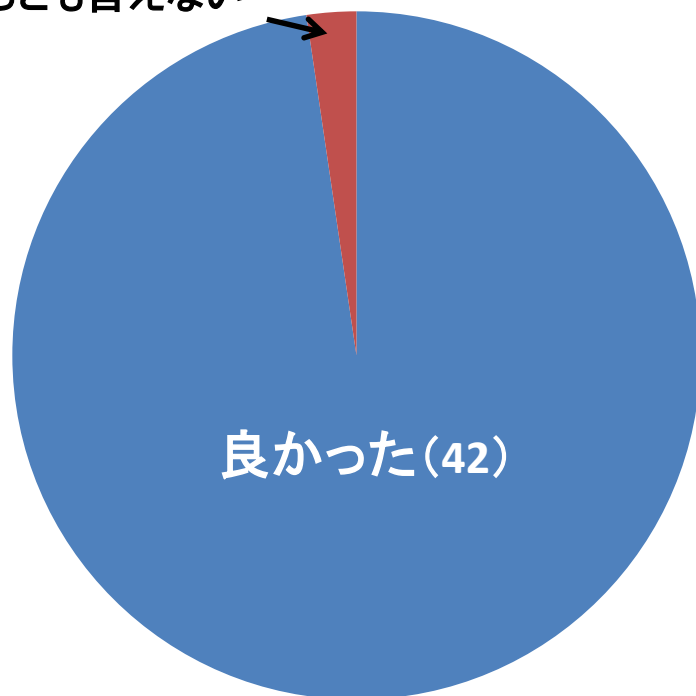
意見交換会



- ・もっと長くてもよいぐらいたくさんの意見が聞け、参考になった。
- ・他大学のいろいろな意見が聞けてよかった。
- ・積極的に多くの意見が出た。
- ・他大学の様子が聞けてよかった。
- ・同規模校の方との話で意見が出やすかった。
- ・同じ悩みを共有できた。
- ・今困っていることにアイデアをもらい助かった。
- ・各大学の論点が近づいているように思う。参考になる点がとても多い。
- ・一つのテーマで深く話せる。
- ・**司会、書記をくじできめるのは良かった。**
- ・看護職としての働き方、日常の悩み等について意見交換ができ、45分では短いと感じた。
- ・内容が決まっていなかったなので自由に意見交換できた。
・**司会・書記の決め方がよかったので、皆が打ち解けるきっかけになった。書記の記録用紙が工夫されていた。**

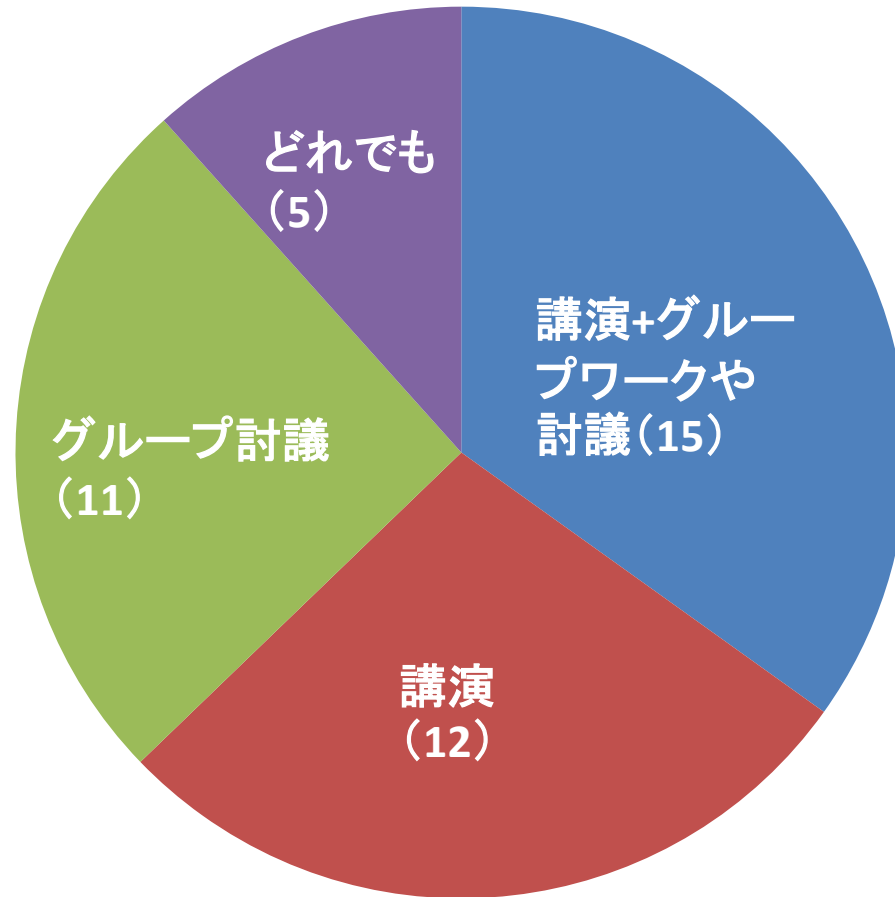
保健看護分科会にメンタルヘルス講演会を組み込んだこと

どちらとも言えない
(1)

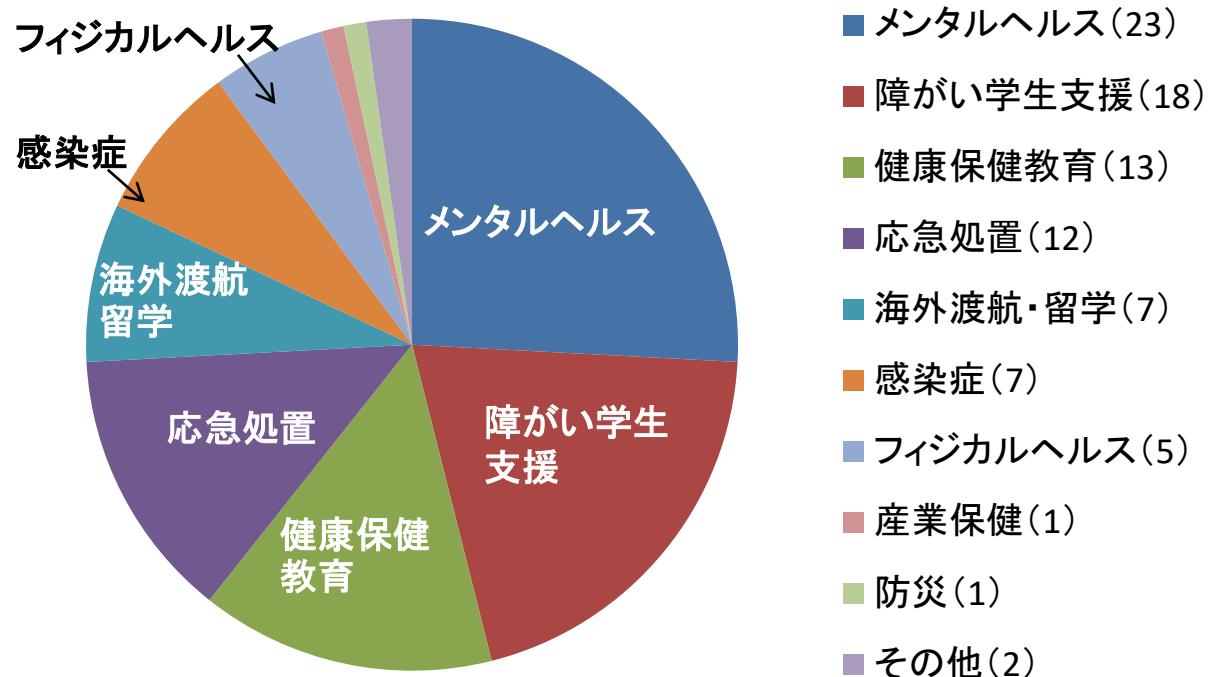


- ・メンタル面は問題となることも多くかかわり方の参考になって勉強になった。
- ・とても参考になり、まずは自分から思った。
- ・すぐ使ってみたいことが聞けて感動した。
- ・おもしろく興味深かった。自分の幅を広げたい。
- ・セルフケアは一人職場の場合とても大切なので情報がすぐ役立つと思った。
- ・メンタル講演会だけではなかったのが良かった。意見交換は必要。
- ・仕事の大部分がメンタルヘルスにかかわるため、いろいろな形で勉強したい。
- ・メンタルヘルス講演会の参加者も多数になりよかったのでは？例年少ないと聞いていたので。
- ・5.の質問との違いがわからない(意図)。
- ・「市民公開講座」としての役割があったかどうか、市民対象であれば時間帯・内容について工夫が必要。

勉強会形式



保健看護分科会勉強会希望テーマ



- ・海外渡航・留学, 危機管理も含めて・酒井悦嗣(日本リスクマネジメント)
- ・障がい学生支援が開始されてから数年たち、対象となった学生の経過などを聞きたい
- ・産業保健活動
- ・看護技術の進歩などの情報提供を希望
- ・防災関係-保健管理センターがどこまで準備対応するのか、予算など
- ・愛媛大学の村上さんにこれまでの経験を講演してもらっては？
- ・災害危機管理と保健センターの役割

平成31年度中国四国大学保健管理研究集会の特別講演や教育講演に提案したいテーマ

- 大学における性教育
- 大学での働き方改革について
- 危機管理も含め海外渡航・留学
- 発達障害やうつのある学生への介入について
- メンタルヘルス、障害学生、生活習慣、保健指導・留学生への対応
- アンガーマネジメント、行動変容

保健・看護分科会、研究集会(本会)について 意見や要望・質問

- 毎年楽しみにしています。今回も素晴らしい内容でした。スタッフの皆さまありがとうございました。
- 活発に気楽に意見交換ができるといい。
- 遠方からの参加のため最終日を午前中までにしてもらえないか。
- 今回お茶だけでなくお菓子も準備していただき、和んでいいと思った。
- 勉強会の司会や書記が当たるのが嫌で参加に逃げ腰だが、お菓子についてくるサプライズは「仕方ないな～」と受け入れられた。
- 会場が少し寒い。
- 保健看護分科会の会員には世代交代があるので、意見交換の場が大切だと思う。
- 中央席が午後、蒸し暑かった。冷房調整してほしい。

分科会勉強会に関するアンケートまとめ

- 開始と終了時刻は例年通りでよい
- 形式は講演と意見交換のミックス型希望が多い
→意見交換についてのアイデアをほしい
- 「市民公開講座として内容と時間帯の工夫を」という意見
- メンタルヘルス講演会を勉強会に組み込むという意味がわからない
- 勉強会希望テーマはメンタルヘルスと障がい学生支援でほぼ半数を占める
- 機器調べ(分科会調査)に意義を感じているのは回答者の3/4→なぜ調査を行っているのか分からない人も多いのか？
→一般会員にもアイデアを出してもらえば？
- 会員は経験年数が10年までが半数以上、職種も重複したり様々→分科会について理解しにくいことも多いのか？

第49回研究集会分科会予定

- 会場にぎたつ会館は道後駅近く
- 日程, 講演会はほぼ決定(別資料)
- 勉強会は「講演会+グループワーク(討議)」で行う
- 勉強会の「講演会」は「メンタルヘルス講演会」を兼ねて行う
- グループワークの進め方→アドバイスを!